

# 方針 (現状・問題)

## 方針:

【クールジャパン戦略】

【地方の創生】

【一億総活躍社会の実現】

【高齢者・主婦・身障者の雇用】

【少子高齢化】

【観光立国・新郷土資料館】

【地域ブランドづくり】

【適地適作・お土産販売等の見直し】



解決

## 現状:

- なぜ「働けるのに働けない」? できる仕事 不足
- なぜ「できる仕事に限られる」? 技能 を持たないから
- なぜ「技能者が増えない」? 仕事 不足
- ★ プロは「技能の伝授」「ノウハウの提供」を無償で行えない
- ※ 現状 ボランティアが懸命に… 全く追着かない
- なぜ? 「古文書」が「消滅」の危機。
- 技能者が不足な為 高価 → 予算が着き難い
- 古文書は世界遺産に相当 → しかし“消滅”の危機
- ※ 地方の復活 ⇔ 地方文書の復活

## 問題:

- 「仕事」と「仕事場・社交場」の不足【高齢者・主婦・身障者方】
- 病院が社交場 (負担 40兆円 以上)
- 子育て支援環境の不足・婚活の場等の不足
- 成功できるか?
- 方針・現状・問題 を「善処させる方法」があるか?

# 対策 (温故知新 戦略: 古文書の復活から)

クールジャパンの強化 → 地域貢献・国益・国際貢献につなぐ  
【シルバー人材・主婦・障がい者・若年無業者等】の新規雇用

## 対策:

絶対に失敗しない・できない 戦略

故きを温ねて新しきを知る

★「温故知新 戦略」

【古文書は先人の“経験と知恵”の宝庫】



- 「古文書」のデジタル撮影技術プロが【潜在的労働力】に指導
- 「古文書」から「未来を発掘」、新郷土センター・道の駅 の充実
- ・「新しいお土産品の発掘」 → 世界へ NET 販売・観光の充実

- 技能者を増大: (提案A) 技能を養成 させる仕組みが 不可欠
- セミプロ化: 数ヵ月の実務研修で古文書撮影のセミプロへ

◆【シルバー人材】も ◆【専業主婦】も ◆【障がい者等】も



★「撮影技能の伝授」の成功事例は、他分野に転用が可能

- 「仕事場 & 社交場」の用意: 廃校 小学校・庁舎等の再活用
- 健康診断室・子育て支援室・婚活の場等を兼ねた社交場
- 各県が中心となり (提案B) 新しい仕事場 & 社交場

- 成功できる 【官】の指示 & 【県】【産】【学】【民】の協力で実現
- 何を → 誰がどの様に → 何時から → いくらで

★基本: 「各地域の過去情報」から 未来を構築、それ以外に有り得ない